

## ＜自転車の安全利用促進委員会レポート＞

### 秋田県初開催

## 教育委員会主催『令和5年度 交通安全指導者研修会』にて 県内交通安全指導担当教員約100名が自転車通学指導について学ぶ

自転車の正しい利用方法や安全安心な自転車の選び方、メンテナンスの重要性を啓発する自転車の安全利用促進委員会と一般社団法人自転車協会は、秋田県教育委員会主催のもと、2023年6月28日(水)に秋田県総合教育センターで行われた『令和5年度 交通安全指導者研修会』にて、自転車通学指導セミナーを実施し、秋田県内の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の学校安全担当者など約100名が参加されました。

秋田県は車両との自転車事故が非常に多く、2015年～2020年に発生した自転車に関する交通事故件数では、突出した数となっています。また時間帯では、夕方の通学時、16時台から18時台の間に集中しています。秋田県では自転車利用者の悲惨な事故を減らすため、2022年4月から「秋田県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を改正し、自転車損害保険等への加入を義務化しています。

講演では、秋田県内の自転車事故の特徴や事故データに触れ、全国の自転車通学指導事例や年齢に合わせた指導法を紹介しました。また、見落とされがちな自転車自体の安全性(BAAマークについて)の大切さについて解説しました。講師の遠藤まさ子(自転車の安全利用促進委員会メンバー／自転車ジャーナリスト)は、「成人に比べ車の運転免許を持っていない中学生、高校生は道路標識等を正しく理解できておらず、道路交通法を前提とした指導が必要です。万が一事故が起きた際には、ヘルメットの着用有無が被害の大きさの分かれ目になり、保険加入の有無がその後の生徒や家族の人生を左右します。事故に遭わない・起こさないための教育のほか、事故に遭ってしまった・起こしてしまった時のことを考え、自転車保険の加入、またヘルメット着用はしっかりと指導していきましょう」と強調しました。また、自転車も「乗り物」だということを自覚し、BAAマークなどの安全マークが付いた自転車を選び、定期的にメンテナンスをすることの重要性について解説いたしました。講演後は「実践している自転車教育についての意見交換と、それを踏まえて二輪・自動車事故削減に向けてどのようなアプローチをしたら有効か」をテーマに各学校の教職員で話し合っていました。

学校生活に慣れ始める初夏は自転車事故が増える季節です。ルール・マナーだけでなく自転車の車体自体の安全性についても改めて理解いただき、他県の指導事例を参考に教職員の皆様が自転車通学の安全指導について考える機会となりました。

### 【参加した教職員の感想】

- ・自転車の乗り方だけでなく、BAAマークやTSマークを理解し、自転車そのものの安全を考えることも大切だと知りました。
- ・自転車に関して知らなかったことが沢山あったので、指導事例や、交通安全ルール、すぐに役立つマニュアルなど今後の指導に活用したいと思いました。



## ■参考資料

### 《講師略歴》

遠藤 まさ子

自転車の安全利用促進委員会メンバー／自転車ジャーナリスト

自転車業界新聞の記者や自転車専門誌の編集などを経てフリーランスへ転向。自転車・育児用品を中心に取材を行い各誌に寄稿。自転車の中でも子ども乗せ自転車、幼児車、電動アシスト自転車を得意とし、各種メディアで自転車の利活用、安全指導等解説を行う。



### 《自転車の安全利用促進委員会》

自転車の安全利用促進委員会とは、一般社団法人自転車協会の協力を受け、安全安心な自転車利用のための啓発活動を行う団体です。自転車の利用者の方々に快適な自転車生活を送って頂くため、購入時に知っておくべき自転車の選び方から購入後のメンテナンス、正しいルール・マナーなどの情報発信を行っています。また、活動の一環として教職員や学生を対象とした、自転車通学指導セミナーも全国で開催しています。

<http://jitenasha-anzen.com/>

### 《BAA マーク》

BAA マークは、一般社団法人自転車協会が定める自転車安全基準に適合した自転車に貼られています。自転車安全基準には全部で約90項目の検査項目があり、ブレーキ制動性能、フレーム・駆動部の強度、ライトの光度、リフレクターの反射性能などの検査に合格する必要があります。



### 《2021 年都道府県別 自転車通学時の事故件数ランキング／秋田県》

中学生の通学時1万人当たり自転車事故件数ランキング(2021年) 高校生の通学時1万人当たり自転車事故件数ランキング(2021年)

順位	前年順位	都道府県	1万人当たりの事故件数	事故件数	前年比増減率(1万人当たり)
1	2	群馬	33.07	173	54.60%
2	1	香川	18.90	49	-12.74%
3	3	徳島	14.93	27	-7.13%
4	7	佐賀	14.19	35	32.94%
5	8	栃木	13.01	68	24.57%
6	5	岡山	12.75	66	7.87%
7	9	宮崎	10.93	34	11.77%
8	4	高知	10.45	18	-24.98%
9	19	滋賀	10.03	42	118.28%
10	13	静岡	9.47	94	37.86%
11	10	茨城	7.85	61	-16.78%
12	28	和歌山	7.01	17	111.84%
13	11	山形	6.88	19	-13.11%
14	6	山梨	6.61	14	-43.35%
15	12	愛媛	6.21	22	-12.33%
16	27	島根	6.15	11	82.24%
17	25	千葉	5.55	89	57.26%
18	26	三重	4.95	24	40.82%
19	16	兵庫	4.85	71	-3.59%
20	20	広島	4.81	37	18.25%
21	30	埼玉	4.54	86	44.89%
22	14	富山	4.52	12	-23.81%
23	21	福岡	4.37	62	8.30%
24	22	愛知	4.27	90	6.01%
25	23	長野	4.08	23	5.08%
26	15	奈良	4.07	15	-28.40%
27	42	鳥取	4.06	6	204.71%
28	32	熊本	4.05	20	40.95%
29	17	岐阜	3.97	22	-15.45%
30	31	石川	3.90	12	32.66%
31	20	岩手	3.80	13	20.44%
32	37	秋田	3.58	8	61.78%
33	40	水戸	2.82	19	73.23%
34	36	山口	2.61	9	12.22%
35	33	福島	2.33	11	-14.21%

  

順位	前年順位	都道府県	1万人当たりの事故件数	事故件数	前年比増減率(1万人当たり)
1	1	群馬	111.95	569	27.05%
2	2	静岡	64.29	606	10.72%
3	5	徳島	41.26	74	35.00%
4	4	香川	37.64	97	22.07%
5	7	佐賀	34.72	79	17.61%
6	8	愛知	34.01	646	18.90%
7	3	宮崎	31.10	92	-5.77%
8	11	兵庫	29.98	398	20.12%
9	12	埼玉	29.73	497	28.80%
10	6	山梨	29.46	68	-1.28%
11	14	栃木	27.57	142	20.95%
12	9	長野	26.57	145	5.93%
13	10	山形	25.28	71	0.97%
14	13	千葉	24.56	356	7.72%
15	17	福岡	23.66	301	24.95%
16	15	岡山	22.05	113	4.96%
17	19	広島	20.90	147	16.94%
18	18	大阪	20.75	439	10.35%
19	20	大分	20.42	61	17.42%
20	22	神奈川	20.27	409	21.20%
21	29	熊本	19.26	88	45.34%
22	21	宮城	18.70	108	9.42%
23	25	徳島	18.51	65	20.26%
24	39	秋田	17.38	39	102.41%
25	30	愛媛	16.98	99	29.78%
26	27	北海道	16.15	196	19.56%
27	24	茨城	15.35	115	2.22%
28	31	福島	14.68	69	14.05%
29	16	高知	14.10	25	-26.49%
30	32	和歌山	13.98	34	35.66%
31	26	青森	13.95	44	2.90%
32	28	滋賀	13.80	52	3.13%
33	34	東京	13.64	426	33.49%
34	23	富山	11.44	31	-24.44%
35	37	石川	11.02	34	12.68%